

埼玉県



埼玉トヨペットが実施したイベントの様子

将来を見据えた積極投資を継続

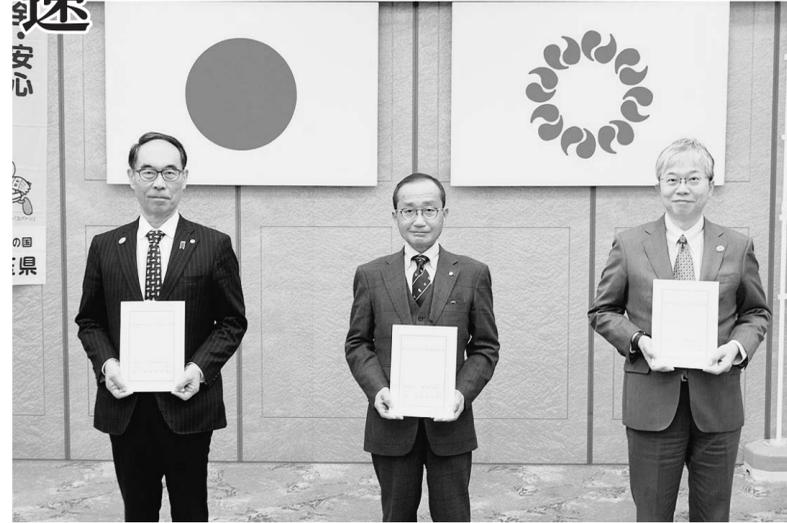
先行き不透明だが
 25年(1~12月)の埼玉県の自動車販売台数は、前年比0.7%増の24万9899台となり、2年ぶりのプラスとなった。内訳は登録車が同1.5%減の15万6244台だった一方、軽自動車が大ハツ工業の出荷再開による効果もあって同2.9%増の8万4745台となった。

埼玉県における2025年の自動車販売台数は、2年ぶりに前年実績を上回った。コロナ禍前の27万台の水準には届かないものの、一時的な新車供給の滞りが解消傾向にあることが要因となった。一方、先行きが見通せない世界情勢や物価高など、消費マインドの低下が懸念される状況にある。その中で、将来を見据えた投資を積極的に推進するとともに、地域との連携強化に各社が励んでいる。

もに前年実績を上回って推移していた。もっとも、下期(7~12月)に入るに、顧客が気軽に足を運ぶことができる雰囲気づくりを図る会社も少なくない。

また、E/Sの観点から男女別の更衣室や足を伸ばせる休憩所を設けるほか、サービス工場内に冷暖房設備やシートシャッターを設置する動きが加速する。今夏も酷暑が予想される。

“熱いファン”創出 工夫凝らしたイベントで



埼玉トヨペットは埼玉県、同警察本部と「防犯のまちづくりに関する協定」を締結



関東運輸局 埼玉運輸支局 高久浩一支局長

埼玉県における2026年1月末までのワンストップサービス(OS)申請の利用状況は、新車新規登録82.16%、継続検査77.67%となった。

明ではあるものの、各社が将来を見据えた投資に取組んでいる。

顧客満足度(CS)と従業員満足度(ES)の向上を目指し、拠点のリニューアルを進めている。多くの拠点で敷居の低さを意識したデザイン

次期システムにらんで

OSのさらなる利便性引き上げ

次期システムの更改に向けて、OSのさらなる利便性向上とともに、支局窓口の混雑緩和、継続検査の受検条件を事前確認できる環境の整備を図り、登録・検査手続きのデジタルトランスフォーメーション(DX)化に努めてまいります。

自動車整備事業については、進化した運搬支援技術を搭載した自動車への対応を目的に特定整備士を育成してまいります。

関東連携し、整備事業者が円滑かつ確実に検査を実施できるよう支援してまいります。

自動車整備業界では、自動車整備士不足が大きな課題となっており、少子高齢化や働き方の多様化が進む中で、整備技術の高度化にも適切に対応するため、整備士をはじめとする整備要員の定着・育成を進めていくことが重要となります。人材の定着に欠かせない業界の地位向上や労働環境の改善に向け、関係機関と連携して事業者による適切な実施を支援してまいります。

人材確保対策として、昨年は県内の高等学校10校を訪問して業界の魅力などを発信しました。来年度も高等学校訪問を継続していくとともに、外国人の新たな特定技能在留資格制度の周知などを行い、自動車整備業界全体で推進している人材の募集・定着・育成の取り組みについて、それぞれに適した支援を行ってまいります。

観点からも欠かせないものとなってきている。

強く発信し、熱量の高いファンの創出を狙う。

さらに、地域・自治体との連携強化に注力するディーラーが目立つ。各拠点の地元祭りの防災イベントなどに、車両展示といった企画で参加するようケースがコロナ禍を境に増えている。これに加え、包括連携協定などを締結する動きも続いている。それぞれの地域・自治体が抱える課題に、地域に根ざすディーラーとしてどのようにアプローチしてサポートしていくのか、各社が模索している。

販売各社

埼玉トヨペットは埼玉県、同警察本部と「防犯のまちづくりに関する協定」を締結



トヨタのスポーツカーブランド「GR」シリーズの車両販売だけでなく、カスタムパーツの展示や相談、現役レースメカニックによるサポートが受けられる専門店舗です



GR Garage 浦和美園

さいたま市岩槻区美園東2-1-1

TEL.048-798-0520

https://www.saitama-toyopet.co.jp/shop/new/urawamisono/gr_garage_urawamisono



埼玉県

自動車団体トップのメッセージ

埼玉県自動車整備振興会/同商工組合

坂田 秋雄会長・理事長

県内の自動車保有台数は2025年12月末現在で、前年同期比0.4%増の415万4958台と増加しています。県内の動向は、他県からの人口流入により、車の購入が多いことや、女性の運転免許取得が伸びており、今後の経済動向や少子高齢化の進展等により影響を受けることが予想されます。

一方、25年における県内の継続検査台数は、164万9612台と前年を3.3%ほど上回って



います。自動車整備業界は、整備士の人材不足が喫緊の課題になっていることに加え、安全・環境性能に優れた高度な電子機器を搭載した車両の普及が進み、新技術の習得が必要不可欠となっております。

整備技術向上対策の4本の柱を中心に、それぞれの事業内容を一段と深め、充実させてまいります。また、

大きな転換期に直面しています。自動車整備業界は、整備士の人材不足が喫緊の課題になっていることに加え、安全・環境性能に優れた高度な電子機器を搭載した車両の普及が進み、新技術の習得が必要不可欠となっております。

整備技術向上対策の4本の柱を中心に、それぞれの事業内容を一段と深め、充実させてまいります。また、

大きな転換期に対応する施策を充実

た、本年に実施される全日本自動車整備技能競技大会の参加に向け、地方予選として第37回埼玉県自動車整備技能競技大会を開催します。

当組合としても共同経済事業及び共済保険事業の拡充と合わせ、振興会と協働して経営・新技術に対応する人材養成事業を積極的に推進し、組合員皆さまの事業運営の一助となるような事業を行っています。

引き続き、会員・組合員の皆さまと一体となり、自動車ユーザーに信頼される業界となるよう努める所存でございます。

埼玉県軽自動車協会

東 智彦会長

2025年の埼玉県の軽自動車新車販売台数は、6月までは前年比10.2%増と好調な販売でありましたが、7月からは、急激な物価の高騰などによる消費マインドの低下により、前年比10.5.2%の8万4745台となりました。前年対比プラスになったものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前までは回復できていない状況であります。

国が推進するDX化の新規OSS申請は、当県について7月から利用



件数が増えたもののまだ全国平均値まで達せず、会員各社の協力を得て申請率の向上に努めてまいります。

二輪車については、4月から原付二輪車免許の道路交通法が変わり、落

ち込んでいきました販売台数が上向き傾向となり、軽二輪小型二輪合計で、前年比102.0%の9143台となりました。

軽自動車協会の柱である普及広報活動につきましては、軽でトクトクキャンペーンや、軽自動車福祉車展示会、同展示会などを通じ多くのユーザーに軽自動車の魅力をアピールする活動を展開してまいります。

交通安全対策といたしましては、関係団体と連携して交通安全意識の高揚と交通事故防止についての啓発活動を展開してまいります。

今後とも会員各社の皆さまのご理解・協力をよろしくお願いいたしま

埼玉県自動車販売店協会・日本自動車販売協会連合会埼玉県支部

茂木 喜明会長・支部長

昨年の県内新車登録台数は、前半は連続して前年を上回っており、7月以降はメーカーの不安定な生産状況や物価高などの影響を受け、厳しい状況が続いており、厳しい状況が続いてお

本年は新車需要予測を前年比100.2%の15万6500台といたしました。昨今の物価高騰や緊迫する国際情勢など厳しい販売環境下において、今年に入りまして前年を下回る状況が続いてお



回るよう会員一丸となって各種施策に取り組みまいります。

本年も販売・来店促進の一環として県内統一キャンペーンや新車合同展示会などを開催し、市場の活性化と新車ディー

また、国土交通省が進めるDX化の一環である「特定記録等事務代行制度」の取り扱いを昨年10月に開始し、会員各社の同制度完全移行へのロードマップを策定しました。

同ロードマップに照り、会員各社がスムーズに移行できるように努めてまいります。

昨年、当会は創立75周年を迎え、これからは会員各社が飛躍と前進ができるよう切磋琢磨(せつさくさくま)しながら、新たなモビリティ社会に即したサービスを提供して参ります。

キャンペーンや試乗会で市場活性化

一方、コンプライアンスの徹底は最重要課題であり、特に本年はわれわれが関係する取適法や保険業法、行政書士法が改正され、適切な対応が図られるよう迅速な情報収集と提供に努め、対応方法や課題などについても検討します。

「課題解決のための意見交換や情報提供を適宜行います。」

埼玉県自動車業界トピックス

「GR Garage浦和美園」MSの魅力発信基地に



埼玉トヨペット

埼玉トヨペット(坂井俊哉社長)は2026年4月から、GR Garage浦和美園(さいたま市岩槻区)の体制を刷新する。同社のリースチーム「埼玉Green Brave」との連携を強化するとともに、これまで培った経験と知識を生かした走行イベントやカスタムパーツの展示会などを実施。モータースポーツ(MS)の多面的な魅力を発信する基地を目指す。

同店は21年9月に、浦和美園支店に併設する形でオープン。アマチュアドライバー支援プログラム「GR Garage」を自指す。

GR Garage浦和美園やMS愛好家対象の「ドライブینگ・サポートプログラム」を来年度も開催する予定。さらに、走行会やパーツ交換会など、MSと

「GR Garage」を自指す。

GR Garage浦和美園やMS愛好家対象の「ドライブینگ・サポートプログラム」を来年度も開催する予定。さらに、走行会やパーツ交換会など、MSと



埼玉ダイハツ

小澤自動車商会(小澤浩之社長)は1976年の創業以来、埼玉ダイハツ(小林幸彦社長)の協力販売店として顧客の信頼と満足を獲得してきた。2011年に人間市内の国道16号沿いにダイハツショップ「ダイハツ入間16号店」をオープンし、翌年には協力販売店最高位のスーパーピットに昇格。24年からは2年連続で埼玉県内の総合



「ダイハツ入間16号店」高い顧客満足と信頼

表彰を受賞した。ダイハツ入間16号店の特色は、拠点内に展示場

車を取りそろえることで、お客さまが足を運びたい店舗を目指して

「GR Garage」を自指す。

GR Garage浦和美園やMS愛好家対象の「ドライブینگ・サポートプログラム」を来年度も開催する予定。さらに、走行会やパーツ交換会など、MSと

「ダイハツ入間16号店」高い顧客満足と信頼

車を取りそろえることで、お客さまが足を運びたい店舗を目指して

積極的に各種セミナー

埼玉県内では、業界団体が中心となり、業界発展に向けたセミナーを積極的に開催している。

埼玉県自動車販売店協会・日本自動車販売協会連合会・自動車整備振興会・埼玉県自動車整備協会・埼玉県自動車整備協会(坂田秋雄会長)と共催し、プラザノース(さいたま市北区)で「自動車整備人材確保のための職場づくりセミナー」を実施。講師にインディードリクルーパートナーズリサーチセンターの宇佐川邦子上席主任研究員を招き、外国人材の受入制度、県内の求職者の動向などを説明した。写真。



また、埼玉自動車整備人材確保・育成連絡会と関東運輸局(藤田礼子局長)は、埼玉県自動車整備振興会(坂田秋雄会長)と共催し、プラザノース(さいたま市北区)で「自動車整備人材確保のための職場づくりセミナー」を実施。講師にインディードリクルーパートナーズリサーチセンターの宇佐川邦子上席主任研究員を招き、外国人材の受入制度、県内の求職者の動向などを説明した。写真。

ニッポンの動く電気自動車。

PSMART ELECTRIC

ディーラーオプション(サイドデカール)装着車

HIJET CARGO ATRAI

SAITAMA DAIHATSU